

**取扱説明書変更のお知らせ**

『WBG-300 シリーズ取扱説明書』の記載内容に一部変更がございますので、下記のとおり変更させていただきます。

■ 変更内容

- ソフトウェアのバージョンアップに伴う変更 (ソフトウェア Ver. 1.14)
- 表現がわかりにくい箇所があったため記載内容を追記 (取扱説明書 Ver. 02)

【ソフトウェアバージョンアップに伴う変更】

29 ページ (外部装置接続)

変更前

変更後

測定値が設定した閾値以上であることを確認した時、WBG-300 がインターフェースコンバータのリレー接点を ON にします。また、閾値の間隔が狭い場合、測定した WBG 値によってはリレー接点が連続して切替わる場合があります。閾値は余裕を持って設定することをおすすめします。  
 ※ 接続モードの設定は、P.20 をご参照ください。  
 オプション品(㉔、㉕、㉖、㉗)にはインターフェースコンバータが付属されています。  
 オプション品のお買い求めについては、P.42 をご参照ください。

レベル 1

レベル 1 の閾値を設定し OK ボタンでレベル 2 へ

測定値が設定した閾値以上であることを確認した時、WBG-300 がインターフェースコンバータのリレー接点を ON にします。また、閾値の間隔が狭い場合、測定した WBG 値によってはリレー接点が連続して切替わる場合があります。閾値は余裕を持って設定することをおすすめします。  
 ※ 接続モードの設定は、P.20 をご参照ください。  
 オプション品(㉔、㉕、㉖、㉗)にはインターフェースコンバータが付属されています。  
 オプション品のお買い求めについては、P.42 をご参照ください。

※ WBG 本体が何らかのエラーを検知した場合にお知らせをするため、最高位(レベル 4)のリレー接点出力を行います。

レベル 1

レベル 1 の閾値を設定し OK ボタンでレベル 2 へ

【記載内容を追記】

40 ページ (故障かな?と思ったら「E07」)

変更前

変更後

表示	内容・対策
E07	<p>ファイルシステムエラーを検知しました。</p> <p>☞ファイル情報に異常があります。パソコンと接続して装置内部メモリのフォーマットを実行してください。</p> <p>フォーマットを行う際は、パソコンと接続する前に、本体の接続モードを設定スイッチでUSB 接続モードに切り替え、USB 通信設定をUSB 通信モードに設定してください。(接続モード及びUSB 通信設定については、P.20、P.30 参照)</p> <p>※フォーマット時には内部データが削除されますので、必要なデータは事前にパソコンに保存してください。</p> <p>☞フォーマットを実行後、電池を取外し、15 秒以上たってから電池を取付けてください。電源再投入後もエラーが表示される場合は、弊社販売店または弊社事業所までご相談ください。</p>

表示	内容・対策
E07	<p>ファイルシステムエラーを検知しました。</p> <p>☞電池を新しいものに交換してください。</p> <p>☞電池交換後もエラーが表示される場合は、パソコンと接続して装置内部メモリのフォーマットを実行してください。</p> <p>フォーマットを行う際は、パソコンと接続する前に、本体の接続モードを設定スイッチでUSB 接続モードに切り替え、USB 通信設定をUSB 通信モードに設定してください。(接続モード及びUSB 通信設定については、P.20、P.30 参照)</p> <p>※フォーマット時には内部データが削除されますので、必要なデータは事前にパソコンに保存してください。</p> <p>☞フォーマットを実行後、電池を取外し、15 秒以上たってから電池を取付けてください。電源再投入後もエラーが表示される場合は、弊社販売店または弊社事業所までご相談ください。</p>